

パンケメクンナイ湿原散策 目国内岳(1220m)経由 記録

山行日	令和4年7月9日(土曜日)
参加者	西田CL (A班) 藤木L、笹山、八重樫、太田、酒井、増川、藪中、光浪、工藤、小笠原、竹内 計14名 (B班) 藤木たかL、西田昌
天候	曇り、山頂はガス
時間	(行き) 伊達道の駅 6:00、→ 新見峠P場着 8:00 ⇒ 山行時間下記 (帰り) 新見峠 15:45、→伊達道の駅着 17:15 解散

「ニセコ連峰、目国内岳～"秘境"の大自然～」と昨年9月NHKで紹介された湿原に初夏の花を期待しての山行でした。目国内岳と岩内岳の間になり、急登・大石・倒木等が一部有るが、笹も刈られた広く歩き易い登山道だった。前日迄の好天が、寒気の影響でガス状の曇り空、風も吹いて、涼しい山行です。新見峠の駐車場は満杯で懐かしい顔が、前会員だった「Oさん」札幌の山会メンバーと一緒に来ていた。エゾカンゾウが咲く前目国内岳を通り、目国内岳へ。頂上には、先の組が登っているのでも湿原へ直行。途中ガスの切れ間から岩内岳、港のブルーがきれいに見えた。木に頭をぶつけながら予定通り湿原に到着。



時刻	場所・状況・行動
8:15	登山開始
9:00	前目国内岳 (980m)
10:50	目国内-湿原分岐
11:30~12:15	パンケメクン湿原/昼食
13:50	目国内岳頂上 (1220m)
15:35	登山口駐車場着
登山Hr	行き 3-40分
(除昼食)	帰り 3-20分



湿原は標高950mで幅250m長さ600mと小さく、中を横断して対岸に渡る道。雷電山麓に残雪が有り、ここ湿原も雪が解けた所か。色々な花々が咲いている。一面咲きほころぶではないが、静かなたたまいの中に可憐な花を咲かしている。我々が山で見ている花が多く、「秘境に咲く花」までとは言えないが、7時間掛けて来た甲斐があった。(記 西田)

